

00	入門書
10	審議会
20	コモンズ論
30	統計・調査
40	関連書
50	施設・建築・機器
60	国内事例
70	海外事例

#### 00入門書

- 1) 加藤信哉, 小山憲司『ラーニング・コモンズ：大学図書館の新しいかたち』（勁草書房・2012年）
- 2) 小山憲司「場としての大学図書館：ラーニング・コモンズがもたらすもの（特集 場所としての図書館）」現代の図書館 51巻 2号（2013年）81-90頁 ◇設置の背景，基本的な要素，国内の実態，大学図書館に設置する理由，学生の学びの様態，残された課題について論じた総括的文献
- 3) 米澤誠「研究文献レビュー 学びを誘発するラーニング・コモンズ」カレントアウェアネス 317号（2013年）22-26頁 ◇2006年以降に日本で発表されたLCに関する研究文献を，入門的文献，理論的文献，レビュー文献，事例報告的文献の4つに区分して，レビューしたもの

#### 10審議会

- 4) 大学図書館の整備について（審議のまとめ）－変革する大学にあつて求められる大学図書館像－：文部科学省（[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/toushin/1301602.htm)）
- 5) 筑波大学『今後の「大学像」の在り方に関する調査研究(図書館)報告書：教育と情報の基盤としての図書館』（筑波大学・2007年）
- 6) 学士課程教育の構築に向けて（答申）：文部科学省（[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1217067.htm)）

#### 20コモンズ論

- 7) 「図書館員のツボ(19)ラーニング・コモンズ」病院図書館 31巻 2号（2011年）74-78頁
- 8) Donald Beagle「The Learning Commons in historical context (特集 ラーニング・コモンズ)」名古屋大学附属図書館研究年報 7号（2008年）15-24頁
- 9) Donald Beagle, 三根慎二「ラーニング・コモンズの歴史的な文脈 (特集 ラーニング・コモンズ)」名古屋大学附属図書館研究年報 7号（2008年）25-34頁
- 10) 井上真琴「なぜ、ラーニング・コモンズが注目されるのか (第71回(2010年度)私立大学図書館協会総会・研究大会『場』としての大学図書館--図書館とラーニング・コモンズ)-- (講演記録 全体テーマ 知の仕掛け、ラーニング・コモンズをどう捉えるか)」私立大学図書館協会会報（2011年）73-87頁
- 11) 永田治樹「大学図書館における新しい「場」インフォメーション・コモンズとラーニング・コモンズ (特集 ラーニング・コモンズ)」名古屋大学附属図書館研究年報 7号（2008年）3-14頁
- 12) 池田佳奈子, 桑名杏奈「ラーニング・コモンズにおける学生支援 (2) : 第18回FD フォーラムでの報告をふまえて」高等教育と学生支援：お茶の水女子大学教育機構紀要 3巻（2013年）90-95頁
- 13) 加藤信哉「ラーニング・コモンズをもっと知るために--図書と雑誌論文の紹介 (特集 ラーニング・コモンズ)」名古屋大学附属図書館研究年報 7号（2008年）63-67頁
- 14) 桑名杏奈, 池田佳奈「ラーニング・コモンズにおける学生支援」高等教育と学生支援：お茶の水女子大学教育機構紀要 2巻（2012年）77-80頁
- 15) 国立大学図書館協会教育学習支援検討特別委員会事務局「国立大学図書館協会ニュース ラーニング・コモンズ再考：平成24年度国立大学図書館協会シンポジウム」大学図書館研究 97巻（2013年）77-89頁
- 16) 山内祐平「ラーニングコモンズと学習支援(ラーニングコモンズと利用者サポート)」情報の科学と技術 61巻 12号（2011年）478-482頁

- 17) 山内祐平他『学びの空間が大学を変える：ラーニングスタジオ, ラーニングcommons, コミュニケーションスペースの展開』（ボイックス・2010年）
- 18) 小山憲司「大学図書館の「あたらしいかたち」ラーニング・commonsをとおして見るあらたな役割と課題」大学マネジメント 9巻 7号（2013年）9頁
- 19) 相田美美子他「研究大会記録 研究助成発表 題目「ラーニングcommonsの要素分析：日本における導入を前提として」（第72回(2011年度) 私立大学図書館協会総会・研究大会 学術情報基盤の要としての大学図書館の整備）」私立大学図書館協会会報（2012年）115-120頁
- 20) 呑海沙織「溶ける境界線--利用者とは図書館の間で」情報管理 52巻 10号（2010年）618-621頁 ◇利用者と図書館の関係性の変化に伴う「提供する者」と「利用する者」との間の境界線の溶解という視点からラーニングcommonsを考察
- 21) 呑海沙織「大学図書館における学習支援サービス再考：学習支援を再構築するラーニング・commons <第23回研修会講演>」SALA会報 20巻（2012年）2-3頁 ◇埼玉県大学・短期大学図書館協議会の第23回研修会（テーマ：学習支援は図書館で：学生・教員・職員の連携を目指して）において、「利用者との協働」「学習支援の再構築」という観点から大学図書館における学習支援を再考した講演の記録
- 22) 米澤誠「動向レビュー インフォメーション・commonsからラーニング・commonsへ:大学図書館におけるネット世代の学習支援」カレントアウェアネス 289号（2006年）9-12頁 ◇インフォメーション・commonsやラーニング・commonsという名称で、ネット世代の学習支援を行う図書館施設とサービス機能について概観し、日本に初めて欧米におけるLCの動向を紹介
- 23) 米澤誠「ラーニング・commonsの本質--ICT時代における情報リテラシー/オープン教育を実現する基盤施設としての図書館（特集 ラーニング・commons）」名古屋大学附属図書館研究年報 7号（2008年）35-45頁 ◇学習・教育・生活の場という3つの観点からラーニングcommonsを整理し、ラーニングcommonsの本質は、ICT時代における情報リテラシー教育を実現するためのインフラであることを明らかにした論考
- 24) 米澤誠「ラーニング・commonsは図書館活性化の起爆剤となるか?特集 第10回図書館総合展 丸善フォーラム報告」丸善ライブラリーニュース 5号（2009年）12頁 ◇教育と生活の支援という視点でラーニングcommonsを捉えなおすとともに、各大学のコンテクストによりラーニングcommonsの構成要素を検討する必要があることを示した報告
- 25) 米澤誠「ラーニング・commonsの理論的枠組み[含 質疑応答]（第71回(2010年度) 私立大学図書館協会総会・研究大会『場』としての大学図書館--図書館とラーニング・commons)--（講演記録 全体テーマ 知の仕掛け、ラーニング・commonsをどう捉えるか）」私立大学図書館協会会報（2011年）88-104頁 ◇ラーニングcommonsを理論的枠組みとして、ラーニングcommonsの3要素、新たな空間の3類型、アクティブラーニングとの互換性、ラーニングcommonsの3レベルを示した講演の記録
- 26) 米澤誠「アフォーダンスとしてのラーニング・commons試論」東北大学附属図書館調査研究室年報 1号（2012年）43-45頁 ◇「アフォーダンス」という新たな視点でラーニングcommonsの意味を考え直し、利用者に対して自学自習にとどまらず教育や生活という意味や価値までもアフォードする場として、ラーニングcommonsを再評価
- 27) 米澤誠「アクティブな教育と学習の場としてのラーニング・commons考」大学マネジメント #SN - 1882-4633 9巻 7号（2013年）21-26頁 ◇東北大学の図書館内ラーニングcommonsにおいて実施してきた大学教育との連携活動と、その中で得られたラーニングcommonsに関する知見を述べるとともに、同ラーニングcommonsの特色を再考

### 30統計・調査

- 28) 山田政寛他「図書館における協調学習空間と学習の情意面の関係に関する調査」日本教育工学会論文誌 35巻（2011年）53-56頁

### 40関連書

- 29) 奥田雄一郎「心理学からみた我が国のラーニング・commonsにおける学びの動向と今後の課題」共愛学園前橋国際大学論集 12号（2012年）91-103頁
- 30) 近森節子『大学行政政策論：職員がつくる教育と研究の新たな仕組み』（東信堂・2011年）
- 31) 前田明洋, 日経アーキテクチャ編集部『ナレッジ・commons：グローバル人材を育むキャンパス空間』（日経BP社; 日経BPマーケティング（発売）・2013年）
- 32) 竹内比呂也「大学図書館の新しい姿」大学マネジメント 9巻 7号（2013年）2頁 ◇千葉大学のアカデミック・リンクを例として、大学図書館の新しい姿を示した文獻
- 33) 二宮敦「授業時間前開館再考--ラーニング・commonsその前に」大学図書館研究 89巻（2010年）79-80頁

◇学生の予習のための「授業時間前開館」の重要性を指摘した論考

#### 50施設・建築・機器

- 34) Fahod Khasawneh他「5512 ANALYSIS ON INNOVATIVE CAMPUS LEARNING COMMONS DESIGN IN LIGHT OF EMERGING PEDAGOGIES : A Study of Problem Based Learning as a Place Maker in University Facilities」 学術講演梗概集.E-1, 建築計画I, 各種建物・地域施設, 設計方法, 構法計画, 人間工学, 計画基礎 2010巻 (2010年) 1069-1070頁
- 35) 岩倉光助他「405 大学図書館の施設構成からみた学習スタイルについて : 居場所の形成からみた大学図書館の施設計画に関する研究 その1(4.建築計画)」 東海支部研究報告集 50号 (2012年) 457-460頁
- 36) 上田祥代, 笹倉理子「図書館内に設置したPC自動貸出ロッカーの利用状況」 情報知識学会誌 23巻 2号 (2013年) 247-252頁
- 37) 立石亜紀子「大学図書館における「場所としての図書館」の利用実態」 Library and information science 67号 (2012年) 39-61頁 ◇横浜国立大学中央図書館内で実施した詳細かつ網羅的な利用行動調査をもとに, 日本の大学図書館における「場所としての図書館」の実態を, 観察調査法によって明らかにした文献
- 38) 立石亜紀子「日本の大学図書館におけるラーニング・コモンズ機能受容の過程」 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 (2012年) 21-24頁 ◇大学図書館の設備やサービスに関する文献から, ラーニングコモンズ機能の受容過程を調査した報告

#### 60国内事例01:北海道

- 39) 小山和伸他「ラーニング・コモンズ--公立はこだて未来大学の事例」 経済貿易研究 37号 (2011年) 149-152頁
- 40) 大学図書館問題研究会出版部『ラーニング・コモンズ : 学びの場の新しいカタチ』 (大学図書館問題研究会出版部・2009年)

#### 60国内事例11:埼玉県

- 41) 澁田勝「広義のラーニングコモンズを目指して : 獨協大学図書館の現状分析」 大学時報 61巻 343号 (2012年) 78-85頁

#### 60国内事例12:千葉県

- 42) 米田奈穂「アカデミック・リンクという理想 : 本物のラーニング・コモンズをめざして」 館灯 50巻 (2012年) 22-28頁 ◇2011年度私立大学図書館協会東海地区協議会第2回研究会において, 千葉大学におけるリエン・ライブラリアン・プロジェクトの取り組みとアカデミック・リンクの構想を紹介した講演の記録

#### 60国内事例13:東京都

- 43) 羽入佐和子, 江川和子「お茶の水女子大学2つのコモンズ-「共にあること」を理念とした教育施設-(上): ラーニング・コモンズとしての大学附属図書館」 文部科学教育通信 277巻 (2011年) 10-11頁
- 44) 江川和子「第118回農学図書館情報セミナー お茶の水女子大学附属図書館におけるラーニング・コモンズの導入と成果」 日本農学図書館協議会誌 160号 (2010年) 1-5頁
- 45) 小林麻実「組織を離れた個人のためのコワーキングの場 アカデミーヒルズ六本木ライブラリー」 情報管理 54巻 9号 (2011年) 545-554頁
- 46) 杉本昌彦「多目的学習スペースの創設と学習支援--上智大学図書館の試み (特集 ラーニング・コモンズ)」 リスン 144号 (2010年) 11-15頁
- 47) 青野正太, 余野桃子「都立中央図書館における利用者サポートの実践(<特集>ラーニングコモンズと利用者サポート)」 情報の科学と技術 61巻 12号 (2011年) 495-500頁
- 48) 青柳英治「大学図書館の教育支援-情報リテラシー教育と生涯学習力」 図書の譜:明治大学図書館紀要 17巻 (2013年) 115-119頁
- 49) 石田英敬「東京大学 「新図書館計画」—新しい知の拠点、アカデミック・コモンズとして—」 大学マネジメント 9巻 7号 (2013年) 16頁
- 50) 中沢正江他「主体的に学び、学び続ける活力を得られる学習場 : 『ラーニングコモンズ』の構築に向けたヒアリング調査報告」 高等教育フォーラム 3号 (2013年) 65-80頁 ◇京都産業大学の学長室・図書館・管財部の教職員による先発大学のラーニングコモンズについてのヒアリング調査の報告。訪問先は, お茶の水女子大学、上智大学、立教大学、東京大学、武蔵大学、東京女子大学の6大学。
- 51) 中林雅士「明治大学図書館の学習支援への取り組み」 薬学図書館 55巻 2号 (2010年) 135-141頁
- 52) 畠山珠美「ライティング・センター : 構想から実現へ(ラーニングコモンズと利用者サポート)」 情報の科学と技

- 術 61巻 12号 (2011年) 483-488頁 ◇国際基督教大学図書館で、ラーニングコモンズにおける新しいサービスとしてスタートさせたライティングサポートデスクの活動を紹介した文献
- 53) 茂出木理子「ラーニング・コモンズの可能性：魅力ある学習空間へのお茶の水女子大学のチャレンジ(レファレンス再考)」 情報の科学と技術 58巻 7号 (2008年) 341-346頁
- 54) 小幡 蒼子「大正大学における図書館外ラーニング・コモンズの効果と課題：アンケートによる比較調査の結果から (特集 大学図書館の新しい姿)」 大学マネジメント 9巻 7号 (2013年) 27-34頁
- 55) 利根川樹美子「ライティングサポートデスク：国際基督教大学図書館のラーニングコモンズの機能 (特集 大学図書館の学習支援)」 大学の図書館 31巻 11号 (2012年) 190-192頁
- 56) 廣田未来「お茶の水女子大学附属図書館の学生支援：ラーニング・コモンズとLiSAプログラム(ラーニングコモンズと利用者サポート)」 情報の科学と技術 61巻 12号 (2011年) 489-494頁
- 57) 當間亜紀子他「情報教育支援の実践報告 ～お茶の水女子大学附属図書館ラーニング・コモンズにおける学生支援～」 情報知識学会誌 23巻 2号 (2013年) 253-258頁
- 60国内事例14:神奈川県
- 58) 澤口隆「PBL 手法を用いたワークショップの実践とプログラミング教育- 湘北ラーニング・コモンズの活用」 湘北紀要 33号 (2012年) 147-162頁 ◇湘北短期大学図書館のラーニング・コモンズを使った、課題解決型教育手法PBL の取り組み事例報告
- 60国内事例15:新潟県
- 59) 西脇紀子「魅力ある情報空間「ラーニング・コモンズ」：新たな図書館の学習支援拠点(分科会報告、3.学生を支援する取り組み、特集、平成21年度学習・教育研究フォーラム(第26回全学FD))」 大学教育研究年報 16巻 (2010年) 138-142頁
- 60国内事例23:愛知県
- 60) 上田直人他「わが国の大学図書館におけるラーニング・コモンズの事例研究 (特集 ラーニング・コモンズ)」 名古屋大学附属図書館研究年報 7号 (2008年) 47-62頁
- 60国内事例24:三重県
- 61) 三根慎二「ラーニング・コモンズはどのように利用されているか：三重大学における事例調査」 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 (2012年) 25-28頁
- 62) 柴山依子他「414 大学キャンパスにおける問題発見解決型学習(PBL)用ラーニングコモンズの利用実態に関する研究：三重大学共通教育棟における改修計画の使用開始後評価(POE)(4.建築計画)」 東海支部研究報告集 50号 (2012年) 493-496頁
- 60国内事例27:大阪府
- 63) 稲葉洋子, 増田知子「大阪大学附属図書館TeachingからLearningへ：Learning Commonsラーニング・コモンズ見学会(西日本委員会見学会レポート)」 情報の科学と技術 60巻 2号 (2010年) 81-83頁
- 64) 上原恵美他「ラーニング・コモンズ：そこで何をするのか,何がやれるのか(図書館実践(サービス)の最前線 1)」 図書館界 63巻 3号 (2011年) 254-259頁
- 65) 堀一成「附属図書館ラーニング・コモンズを利用した教育実践の試み」 大阪大学大学教育実践センター紀要 7巻 (2011年) 81-84頁 ◇教員による、大阪大学附属図書館ラーニングコモンズを利用したセミナー授業とライティング指導講習会の事例報告
- 66) 堀一成「附属図書館ラーニング・コモンズを利用した大阪大学における学修支援の取り組み (特集 大学図書館2012)」 図書館雑誌 106巻 11号 (2012年) 765-767頁
- 60国内事例31:鳥取県
- 67) 津村光洋「鳥取大学附属図書館のラーニング・コモンズ」 鳥取大学教育研究論集 1号 (2011年) 97-102頁
- 70海外事例2 アジア
- 68) 西日本委員会有志「韓国の図書館を訪ねる旅(見学会報告)」 情報の科学と技術 62巻 11号 (2012年) 490-492頁
- 69) 大谷周平, 和田省子「韓国の大学図書館における学習環境とサブジェクトライブラリアン」 大学図書館研究 96巻 (2012年) 23-32頁 ◇平成23年度国立大学図書館協会海外派遣事業により実施された韓国の大学図書館

における学修環境とサブジェクトライブラリアン制度についての調査の報告。訪問先は、ソウル市内の延世大学、高麗大学、ソウル大学、成均館大学、明知大学の5大学

70海外事例3 ヨーロッパ

- 70) 和田由季他「英国大学図書館におけるインフォメーション・コモنزと情報リテラシー教育」 大学図書館研究 92巻 (2011年) 48-56頁

70海外事例5 北アメリカ

- 71) 小坪守「情報リテラシーとラーニング・コモنز：日米大学図書館における学習支援(<特集>情報リテラシー) 情報の科学と技術 59巻 7号 (2009年) 328-333頁
- 72) 川井奏美, 野田晶子「米国大学図書館における利用者行動調査とラーニング・コモنزの整備について：ロチェスター大学とジョージア工科大学の事例」 大学図書館研究 = Journal of college and university libraries 98号 (2013年) 51-62頁
- 73) 大坪一幸他「研究大会記録 2009年度海外集合研修報告 (第71回(2010年度) 私立大学図書館協会総会・研究大会『場』としての大学図書館--図書館とラーニング・コモنز)」 私立大学図書館協会会報 (2011年) 105-116頁 ◇私立大学図書館協会第71回 (2010年度) 研究大会における2009年度海外集合研修「研修テーマ：カナダの大学図書館探訪」の報告。訪問先は、バンクーバーのブリティッシュコロンビア大学、サイモンフレーザー大学の図書館及びバンクーバー公立図書館の3箇所。個別研修テーマの一つとして「ラーニングコモنز」があり
- 74) 呑海沙織, 溝上智恵子「北米の大学図書館における学習支援空間の歴史の変容--ブリティッシュ・コロンビア大学の事例から」 カナダ教育研究 8号 (2010年) 1-17頁
- 75) 呑海沙織, 溝上智恵子「大学図書館における学習支援空間の変化：北米の学習図書館からラーニング・コモنزへ」 図書館界 63巻 1号 (2011年) 2-15頁
- 76) 土持ゲーリー法一「アカデミックサポートについて：ラーニング・コモنز、ライティング・センター、ラーニング・ポートフォリオによるサポートを中心に」 同志社大学教育開発センター年報 3号 (2012年) 23-57頁 ◇帝京大学高等教育開発センター長が、同志社大学FD講演会で、北米のラーニングコモنز等における学修支援について紹介した講演の記録
- 77) 立石亜紀子「ラーニング・コモنزの現況--米国の現状調査と日米の比較」 三田図書館・情報学会研究大会発表論文集 2011巻 (2011年) 21-24頁
- 78) 鈴木克明他「大学授業の質改善以外の学習支援にどう取り組むか：学習センター関連資格制度についての米国調査報告」 日本教育工学会研究報告集 2011巻 1号 (2011年) 181-186頁

70海外事例7 オセアニア

- 79) 森彩乃「オーストラリア・アジア電子ブックセミナー参加及びオーストラリアの図書館訪問報告 (特集 図書館職員研修)」 名古屋大学附属図書館研究年報 10号 (2011年) 25-35頁